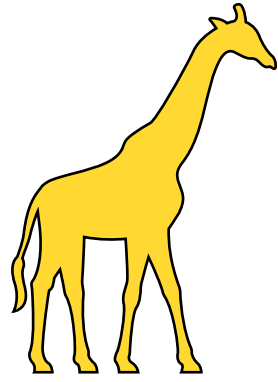


キリンについて

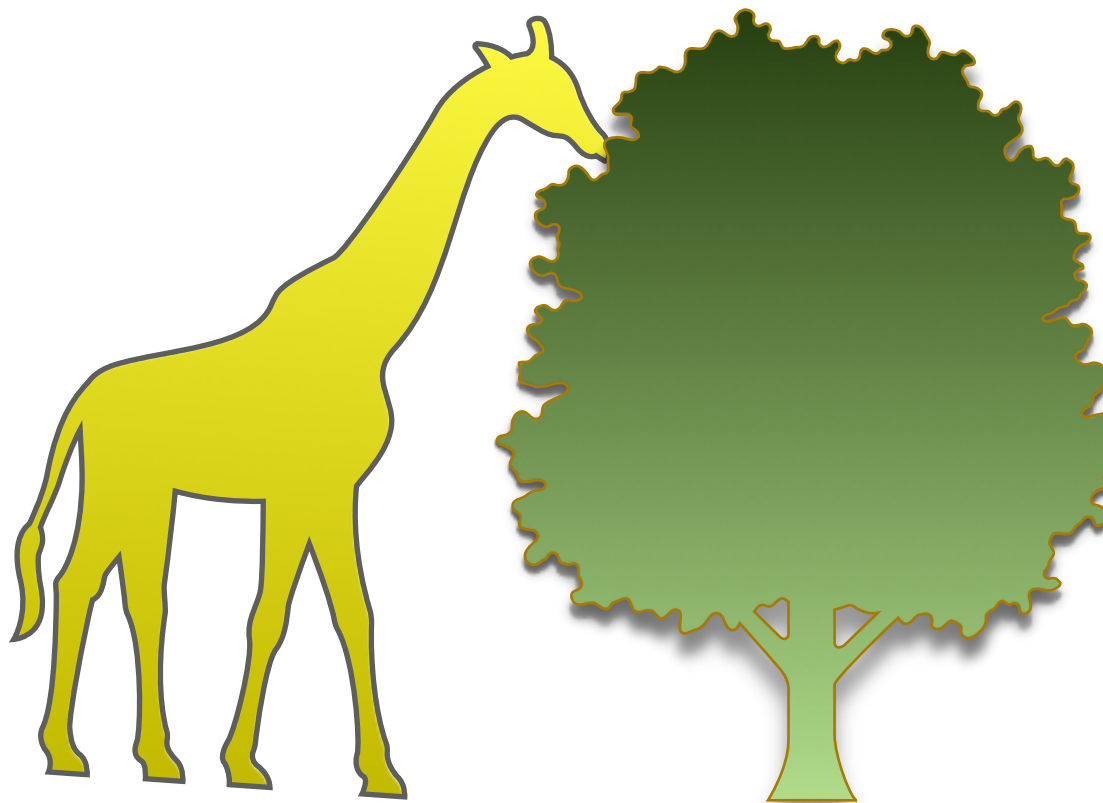


今から何千万年のキリンの先祖は体が小さく首もあんまり長くありませんでしたその時は、森に住んでいて木の葉、を食べていました。ところが、キリンの先祖は、草原にすむようになりました。これはゾウとかでも同じですけど草原で暮らすようになると体も次第に大きくなるのです。

草原は、広々として見晴らしは、いいですが逆に敵に見つかりやすいのです。

そこに動物が住めるのは、あしが早い動物か体のでかい動物だけです。

それでキリンの先祖も長い足を持つ動物に進化していったのです。



草原にくらすようになったあとにも、首がながいきりんとくびがみじかいきりんがいたそうですくびがながくないきりんは、みずをのむときにまえあしをかがまないといけません。キリンはとてもおおきなどうぶつです。そのような大きなどうぶつがみずをのむたびにかがんでいるともうじゅうにおそわれたときすぐにはにげだせません。そしておそわれたときにすぐにげようとしてあしをおることもあります。このように首がみじかいきりんは、生きていくことにふべんでしたそれで首がみじかいきりんは、ぜつめつしくびがながいきりんがいきのこったのでした。

